

学校名	春日部市立豊野小学校
所在地	埼玉県春日部市銚子口1087
電話	048-735-2112

1 本校の概要

本校は、開校 145 年目の歴史ある学校であり、児童数 369 名、15 学級（特別支援学級 2 学級を含む）の中規模の学校である。児童の図書利用場所は 3 カ所あり、学校図書館の他に、1 年生は「にこにこ文庫」、他の学年は渡り廊下に設置した「夢文庫」を活用している。



2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫
- ・ 学校図書館支援員・学校司書などを活用した取組
- ・ 図書委員会の活動を通じた取組

(2) 実践の概要

ア 読書タイムの実施

週に 1 度、15 分間、読書をする時間を確保する。

イ おはなし会の実施

月に 1 回程度、おはなし会の方をお呼びし、本の読み聞かせを行う。

ウ 読書貯金カードの活用

読書貯金カードを全校統一で作成し、読んだ本の名前とページ数を累積して記録していく。

エ 図書委員会による活動

- ・ 本の紹介
 - おすすめの本のポップ作り等
- ・ ビンゴ読書大会の開催
 - ビンゴカードに書かれた分類の本を読むとスタンプがもらえ、読書の課題を達成できた児童には、委員会の児童が手作りした葉を贈呈する。
- ・ スゴロク読書大会の開催
 - スゴロクをしながら、自分のコマが止まった箇所に記された本を借り、読み終わったらスゴロクを進め、ゴールを目指す。

エ 全校朝会での校長講話

学校図書の中から、講話のテーマに合った本の紹介を行う。その後、図書室に掲示する。



ウ 学校図書館支援員を活用した環境整備

- ・ 学習の単元に合わせた書籍の整理
- ・ ポップの作成
- ・ 新書の紹介のための廊下掲示
- ・ 定期的な面出しする本の変更等々



オ その他

- ・ 学校図書館支援員の意見を新書の選定に反映する。
- ・ 年間を通して、クラスごとにたくさん読書に取り組んだ児童に本の表紙で作ったバックをプレゼントする。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

2 学期は図書室利用者が低迷する中、ビンゴ大会期間中の貸出し冊数は、前月の 2 倍に達し、多くの児童が図書室を自主的に利用していた。本を読む児童が少ない中、委員会の活動を通してイベントを設けることで、楽しみながら本を借りる様子が多く見受けられた。

(2) 課題

読書貯金カードは、6 年間記録を積み重ねていくことで、自分の読書の記録を振り返ることができる。また、6 年生の国語の学習で、自分の読書を振り返る時に役立てていくことを目的として始められた試みである。実施してから 1 年経ったので、今後は、読書活動の向上に向けて各学年に合ったその活用の仕方でも検討していく必要がある。

(3) おわりに

今後も、読書の習慣化を図ったり、図書室の利用率を高めたりする工夫をしていきたい。